

(案)

第2次春日井市生涯学習推進計画

～令和5年度進捗状況報告書～



令和6年7月

春日井市

目 次

1. 第2次春日井市生涯学習推進計画(改定版)の概要	1
▶ 計画策定の目的	1
▶ 基本理念	1
▶ 基本目標	2
▶ 施策の体系	3
2. 2023年度(令和5年度) 第2次生涯学習推進計画進捗状況	3
▶ 基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり	4
(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)	4
(2) 成果指標と2023年度(令和5年度)実績値	4
(3) 主な取組み状況	5
▶ 基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実	9
(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)	9
(2) 成果指標と2023年度(令和5年度)実績値	9
(3) 主な取組み状況	10
▶ 基本目標Ⅲ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実	18
(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)	18
(2) 成果指標と2023年度(令和5年度)実績値	18
(3) 主な取組み状況	19
▶ 基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり	25
(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)	25
(2) 成果指標と2023年度(令和5年度)実績値	25
(3) 主な取組み状況	26
3. 生涯学習推進計画進捗状況に係る評価	29
資料編 令和5年度 生涯学習推進計画進捗状況(一覧)	30

1. 第2次春日井市生涯学習推進計画(改定版)の概要

▶ 計画策定の目的

生涯学習を通じた暮らしやすいまちを目指し、文化及び生涯スポーツの更なる振興、これまで生涯学習に取り組んでこなかった層に対する働きかけの強化、計画の進行管理及び着実な実行を推進するための数値目標の設定を盛り込み、本市における生涯学習を推進するための指針となる計画として、2018年度(平成30年度)から2027年度(令和9年度)までの10年間を計画期間とした「第2次春日井市生涯学習推進計画」を策定し、誰もが生涯にわたり学ぶことができ、その成果を生かして地域の中でいきいきと活躍できる社会を目指して、生涯学習施策に取り組んできました。

2022年度(令和4年度)が中間年度となることから、社会情勢や国・県の動向を踏まえた上で、市民アンケートの結果やこれまでの取り組みの進捗状況から本市における課題を整理し、2023年度(令和5年度)から2027年度(令和9年度)までの後期期間に向けて、「第2次春日井市生涯学習推進計画(改定版)」として計画の見直しを行いました。社会情勢が大きく変化する中、人と人とがつながりを持ち、学んだことを生かして様々な地域課題に対し積極的に取り組むため、様々な取り組みを推進していきます。

▶ 基本理念

市民一人ひとりが心豊かな生活を送るためには、学びを通じて一人ひとりの潜在能力を最大限伸ばすとともに、学習活動を通じた地域活動の推進、現代的・社会的な課題に対応した学習などの推進を図っていく必要があります。これを踏まえ、本計画の基本理念を次のとおりとします。

『一人ひとりの学びが地域の絆と

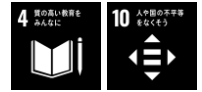
未来を創り出すまちづくり』

▶ 基本目標

基本理念である「一人ひとりの学びが地域の絆と未来を創り出すまちづくり」を実現するため、様々な課題に対応した4つの基本目標を次のとおり定め、総合的な取組みを推進します。

I

学びにつながるきっかけづくり



市民の学びに関する興味や関心が高まるよう、意識啓発に努めるとともに、学習活動の実践へとつながるよう、様々な機会や手法を活用して生涯学習の魅力や活動情報を発信し、学習のきっかけにつなげます。

また、誰もが気軽に学ぶことができる学習機会の提供を行います。

II

多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実



世代で異なるニーズに応じた多様な分野の学習機会を提供するとともに、市民が身近な場所で生涯スポーツや文化芸術に親しむことができる機会を提供します。また、自主的・主体的な学習活動への支援等、時代のニーズに即した学習機会の充実を図ります。

III

学んだ成果を生かしたまちづくり



市民一人ひとりが社会的課題や地域課題に関心を持ち、課題解決に取り組むことができるような学習の充実を図ります。また、市民が学習を通じて身につけた知識や技能、経験等の成果をまちづくりに生かすことができるよう、学習成果を発表する機会の確保を図るとともに、その情報を広く周知します。

また、学習成果を地域で広く生かすことができる仕組みの構築に取り組めます。

IV

学びを豊かにする環境づくり



市民の身近な学習や活動の場である公民館やふれあいセンター等をハード・ソフトの両面において市民にとって利用しやすい学習施設となるよう整備、充実を図ります。また、高等教育機関や地域の事業者等との連携を強化し、学習環境の充実を図ります。

▶ 施策の体系

基本理念	基本目標	基本的施策	取組みの方向
一人ひとりの学びが地域の絆と未来を創り出すまちづくり	基本目標Ⅰ 学びにつながる きっかけづくり	▶ (1) 生涯学習に関する情報提供の充実	▶ 1 多様な媒体を活用した情報の提供 2 生涯学習の魅力や活動情報の発信 新規 重点項目
		▶ (2) 学習活動の多様なきっかけの提供	▶ 3 興味関心から実践へとつながる講座等の実施 新規 重点項目 4 活動に関する相談窓口機能の充実 5 市民ニーズの的確な把握
		▶ (3) 誰もが参加しやすい学習機会の提供	▶ 6 生活様式に応じた多様な学習スタイルの提供 新規 重点項目 7 障がい者、外国人等の生涯学習活動への支援 新規 重点項目
	基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた 学ぶ機会の充実	▶ (1) ライフステージに応じた学習機会の充実	▶ 8 乳幼児期における学習機会の充実 9 青少年期における学習機会の充実 10 成人期における学習機会の充実 11 高齢期における学習機会の充実 12 リカレント教育の推進 新規
		▶ (2) 生涯スポーツの推進	▶ 13 コミュニティスポーツの推進 14 スポーツに関する学習機会の充実
		▶ (3) 文化芸術の振興	▶ 15 文化芸術の鑑賞機会や学習機会の提供 16 市民による文化芸術活動の促進 17 特色ある文化の推進 18 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発
		▶ (4) 自主的・主体的な学習活動への支援	▶ 19 図書館、図書室の充実 20 生涯学習活動団体への支援
	基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かした まちづくり	▶ (1) 社会的課題に対応した学習機会の充実	▶ 21 健康に関する学習機会の充実 22 環境に関する学習機会の充実 23 防災、防犯に関する学習機会の充実 24 情報化・国際化社会に関する学習機会の充実 25 男女共同参画に関する学習機会の充実
		▶ (2) 地域の担い手となる人材の発掘及び育成	▶ 26 指導者となりうる人材の育成 27 ボランティアの育成
		▶ (3) 学習成果を生かしたまちづくりの推進	▶ 28 学びの成果を発表する機会の提供 29 市民自らが企画した講座の開催 30 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援
	基本目標Ⅳ 学びを豊かにする 環境づくり	▶ (1) 身近な生涯学習関連施設の充実	▶ 31 市民が利用しやすい、利用したくなる施設運営 拡充 重点項目 32 施設の有効活用 33 施設の適切な維持管理
		▶ (2) 関係機関とのネットワークの構築	▶ 34 地域の大学や事業者との連携 35 近隣自治体との連携

2. 2023年度(令和5年度) 第2次生涯学習推進計画進捗状況

▶ 基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)

基本的施策	報告 事業数	自己評価				
		◎	○	△	×	評価なし
(1) 生涯学習に関する情報提供の充実	14	2	12	—	—	—
(2) 学習活動の多様なきっかけの提供	6	—	5	—	—	—
(3) 誰もが参加しやすい学習機会の提供	15	4	11	—	—	—

※自己評価基準 ◎ : 想定以上の成果が得られたところがあった。前年度実績を上回る成果があった。
 ○ : 全般的に、概ね想定した成果が得られた。前年度実績と同程度の成果があった。
 △ : 想定した目標に到達できなかったところがあった。前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
 × : 全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年と比較し大幅に下回る成果しか得られなかった。

(2) 成果指標と2023年度(令和5年度)実績値 *は後期計画から新たに指標とした項目

基本的 施策	指 標	実績値			前年度 比較	目標値 2026年度 (R8年度)
		2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)		
(1)	生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	8.3%	—	—	-	30.0%
	今後、生涯学習に取り組みたいと思う人の割合*	55.5%	—	—	-	65.5%
	市の生涯学習に関する取組みが重要であると思う人の割合*	22.0%	—	—	-	25.0%
(2)	生涯学習に取り組んでいる人の割合	55.3%	—	—	-	65.0%
(3)	公民館等でのオンライン講座の実施数*	5 講座	8 講座	11 講座	↑	15 講座
	障がい者向けの講座の実施数*	12 講座	14 講座	16 講座	↑	16 講座

(3) 主な取組み状況

※取組みの一覧は、資料33～39ページに掲載

基本的施策(1) 生涯学習に関する情報提供の充実

【取組み1】多様な媒体を活用した情報の提供

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
● 広報春日井、民間の生活情報誌などの紙媒体を活用した情報の提供	広報春日井	生涯学習に関する情報を始め、市の魅力、市政情報に関するきめ細かな情報を発信するため、広報誌を発行する。	発行回数：年12回 発行日：毎月1日を基準日に、前月末頃に発行 仕様：A4 全面カラー 発行部数：98,000部 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報 ほか	広報広聴課
	民間の地域情報誌の活用	民間の地域情報誌を活用し、講座やイベント情報、生涯学習に関する情報を発信する。	令和5年4月号： 前期市民講座受講者募集 文化・生涯学習課実施事業のお知らせ 生涯学習情報サイト「まなびや選科」について 令和5年9月号： 後期市民講座受講者募集 ふれあいセンター芸能発表会・活動団体について 施設での展示案内 令和6年4月号： 生涯学習、市民活動、スポーツに取り組む人を取り上げ紹介	いきがい推進課
● 生涯学習情報サイト「まなびや選科」、市ホームページ、SNS等、インターネットを活用した情報の提供	生涯学習情報サイト「まなびや選科」の運営	生涯学習情報サイト「まなびや選科」で講師や生涯学習活動団体の情報を提供する。	アクセス件数：40,529件（前年比9,422件増） 団体登録件数：122団体（前年比1団体減） 講師登録件数：323人（前年比22人増、新規登録27人）	いきがい推進課
	SNSによる情報発信	市公式LINEでさまざまな情報を発信する。	市公式LINE友だち登録者数 21,553人 「文化・生涯学習」セグメント登録者数 4,123人（前年比1,529人増） 「文化・生涯学習」分野の配信件数 68件	広報広聴課
● 駅や施設等に設置されているデジタルサイネージ等を活用した情報の提供	春日井駅デジタルサイネージでの情報発信	JR春日井駅に設置されているデジタルサイネージでさまざまな情報を発信する。	年間25回スケジュールを更新（原則として月2回） ＜放映例＞ ・道風記念館企画展「おののとうふう～和様の書をつくった三跡」 ・道風記念館特別展「人と書～日本の書の息吹～」 ・文化・生涯学習課大学連携講座「歴史から読み解く中国のいま」PR ほか	広報広聴課

【取組み2】 生涯学習の魅力や活動情報の発信

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●活動する人の声や画像を活用した魅力発信	活動する人の声が伝わる魅力的な発信	講座受講者や活動団体の様子が伝わるよう様々な手法で生涯学習の魅力を発信する。	講座受講者募集の際に、ホームページに前年度受講者の感想や講座風景写真を掲載し、講座の内容を分かりやすく伝わるよう工夫した。	いきがい推進課
●市内の生涯学習活動団体やサークル等の情報発信	生涯学習の魅力や活動団体の紹介	生涯学習の楽しさや魅力を伝えられるよう様々な媒体等を活用して情報を発信する。	・令和6年4月号広報や民間地域情報誌で、生涯学習、市民活動、スポーツに取り組む人を取り上げ紹介 ・各施設で活動する生涯学習活動団体の写真付きPRポスターを館内で掲示した。 ・文化系団体が制作した作品を館内に展示し、活動成果を紹介した。	いきがい推進課

基本的施策(2) 学習活動の多様なきっかけの提供

【取組み3】 興味関心から実践へとつながる講座等の実施

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●習得状況に応じてステップアップできる講座の実施	ステップアップ講座	継続して学び続けられるよう、習熟度に合わせてステップアップした講座を実施する。	(1)公民館 実施数：3講座（14回） 実施講座：紙バンドのいろいろな編み方技法を学ぶ（中級）、大人のクラフトガラスアートに挑戦（中級・上級編）ほか 延受講者数：196人 (2)ふれあいセンター 実施数：5講座（21回） 実施講座：シニアのための持ち込みスマートフォン講座（入門編・応用編）ほか 延受講者数：217人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み4】 活動に関する相談窓口機能の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●ボランティアや市民活動に関する相談事業の実施	ボランティア相談及び市民活動・NPO相談	ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。	(1)ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～午後5時 相談件数 1,705件（前年比279件増） (2)市民活動・NPO相談 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時 （相談内容により予約制） 相談件数 112件（前年比26件増）	市民活動支援センター

【取組み5】 市民ニーズの的確な把握

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●アンケートを活用した市民ニーズの把握	アンケートを活用した市民ニーズの把握	講座受講者へのアンケート調査を行うとともに、アンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。	各講座において、実施後に受講者に対し、アンケート調査を行った。また、アンケート調査の結果を講師に提供し、改善すべき点を共有することで行為座内容の改善を図った。	いきがい推進課

基本的施策(3) 誰もが参加しやすい学習機会の提供

【取組み6】 生活様式に応じた多様な学習スタイルの提供

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●オンライン講座や動画配信によるデジタルコンテンツの充実	オンライン講座、配信講座	大学連携講座等で、会場で受講する対面式とZOOMによるオンラインを併用した講座を実施する。また、時間や場所を問わず自分の好きな時に受講できる配信講座を実施する。	(1)ZOOM講座 実施数：1講座（2回） 延受講者数：17人 (2)対面・オンライン受講併用講座 実施数：3講座（6回） 延受講者数：74人（うちオンライン16人） (3)動画配信講座 実施数：2講座 延受講者数：262人	いきがい推進課
		「市民健康づくり講座」をオンライン配信講座で実施する。	実施数：5講座（すべてオンライン） 講座内容：男性、女性それぞれの特長から考える更年期の過ごし方、働く世代の睡眠改善～安全に楽しく活動するための睡眠改善法伝授～ほか 延受講者数：522人	健康増進課

【取組み7】 障がい者、外国人等の生涯学習活動への支援

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●障がい者向け講座等の実施	障がい者向け講座	障がいの特性に配慮した講座を開催する。	実施数：16講座 実施講座：音楽療法、のんびりゆったり体操教室、元気パワーアップ運動教室、楽しい大人の塗り絵講座、視覚障がい者スマートフォン講座 ほか 延受講者数：1,557人 (障がいの有無に関わらず募集、障がい者281人)	社会福祉協議会
●障がい者図書サービスの充実	障がい者図書サービス	障がい者に学ぶ機会を提供するため、録音図書や点字図書の製作、ボランティアによる対面読書、図書無料郵送貸出を行う。	(1)デージー図書製作数：31種 (2)点字データ製作数：70種 (3)対面読書：5回 (4)音訳技術講習会（初級編） 1回（12日間）受講者数：8人 (5)音訳デジタル録音技術講習会 1回（2日間）受講者数：36人	図書館
●外国人向け日本語講座等の実施	外国人向け学習支援	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	(1)日本語教室（かすがいふれあい教室） 生活に必要な知識を身に付ける学習機会及び日本に対する理解を深める日本の文化体験講座も合わせて 実施施回数：36回 延参加者数：1,215人 (2)子どもの日本語教室 実施回数：39回 延参加者数：291人	多様性社会推進課

▶ 基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)

基本的施策	報告 事業数	自己評価				
		◎	○	△	×	評価なし
(1) ライフステージに応じた学習機会の充実	35	6	28	1	—	—
(2) 生涯スポーツの推進	6	4	2	—	—	—
(3) 文化芸術の振興	15	3	12	—	—	—
(4) 自主的・主体的な学習活動への支援	6	1	5	—	—	—

※自己評価基準 ◎ : 想定以上の成果が得られたところがあった。前年度実績を上回る成果があった。
 ○ : 全般的に、概ね想定した成果が得られた。前年度実績と同程度の成果があった。
 △ : 想定した目標に到達できなかったところがあった。前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
 × : 全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年と比較し大幅に下回る成果しか得られなかった。

(2) 成果指標と2023年度(令和5年度)実績値 *は後期計画から新たに指標とした項目

基本的 施策	指 標		実績値			前年度 比較	目標値
			2021 年度 (R3 年度)	2022 年度 (R4 年度)	2023 年度 (R5 年度)		2026 年度 (R8 年度)
(1)	乳幼児や小中学生、親子を対象とした講座の延受講者数		4,496 人	4,980 人	5,283 人	↑	6,100 人
	小中学校におけるふれあい教育セミナー	申請団体数	45 団体	47 団体	50 団体	↑	71 団体
		講座実施回数*	127 回	172 回	214 回	↑	213 回
		参加者数*	11,652 人	11,594 人	13,146 人	↑	18,100 人
	かすがい熟年大学の延受講者数		2,380 人	5,292 人	6,426 人	↑	6,800 人
(2)	スポーツ教室の参加人数		37,660 人	69,732 人	83,550 人	↑	73,000 人
(3)	文化芸術活動をしている人の割合		12.3%	—	—	-	14.5%
	かすがい市民文化財団自主事業の満足度*		97.2%	—	98.1%	→	98.5%
(4)	生涯学習活動団体の会員数		12,047 人	11,566 人	9,745 人	↓	12,000 人

(3)主な取組み状況

※取組みの一覧は、資料40～53ページに掲載

基本的施策(1) ライフステージに応じた学習機会の充実

【取組み8】 乳幼児期における学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●親子で楽しめる学習プログラムの充実	乳幼児を対象とした講座	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：18講座 実施講座：親子の絆を深める子守唄講座、家族で楽しくリトミック、親子講座～赤ちゃんの育つ力を引き出す遊び ほか 延受講者数：1,359人 (2)ふれあいセンター 実施数：9講座 実施講座：ファミリー運動教室、おやこでいっしょにABC！、夏休み子ども劇場 ほか 延受講者数：968人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
	子育てサポートキャラバン隊	児童館、子育て支援拠点等のない地域で事業を行うことで地域の子育て支援機能の充実を図り、子どもの健やかな育ちを支援する。	実施場所：7施設 延参加人数：3,242人 (保護者：1,576人、子ども：1,666人)	子育て推進課
●子育てに関する講座や育児相談の実施	パパママ教室	妊婦とその夫を対象に、出産や育児等について理解を深めるよう保健師や助産師が指導を行う教室を開催する。	(1)パパママ教室 参加者数：427人（パパ168人、ママ259人） (2)日曜パパママ教室 参加者数：841人（パパ421人、ママ420人）	子育て推進課

【取組み9】 青少年期における学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●親子体験活動等の実施	親子講座	親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	(1)公民館 実施数：59講座（93回） 実施講座：親子で学ぶお片付け教室、親子でチャレンジ！みそだまづくり、親子でトライ！ダンスの基本ステップ入門 ほか 延受講者数：1,890人 (2)ふれあいセンター 実施数：13講座（48回） 実施講座：親子で体験！楽しい手打ちそば作り、親子講座「恵方巻づくり」 延受講者数：1,197人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

			(3)青年の家 実施数：1講座（4回） 実施講座：童謡・アニメソングを家族で歌おう 延受講者数：133人	
●小中学生を対象とした講座、イベントの実施	子ども司書養成講座、10代の未来さがし講座	講座を開催することで、図書館への関心を高め、読書活動の意義を見出すことを促す。	実施数：2講座（5回） 実施講座：子ども司書養成講座（現役の司書から図書館業務を学ぶ） 10代の未来さがし講座（大学教員から人生の助けになることを学ぶ） 延受講者数：14人	図書館
	里山体験（田んぼと森の学校）	里山的環境を利用した米作り体験をすることで自然と人との関わりについて考え、勤労体験と収穫の喜びを味わい、生きるために重要な「食」について考える。	実施回数：9回 延受講者数：262人	野外教育センター

【取組み10】 成人期における学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●家庭教育の重要性を学ぶ会の充実	ふれあい教育セミナー	家庭教育の大切さ等を学習する「ふれあい教育セミナー」に対して補助することで、家庭教育力と地域教育力の向上を図る。	実施団体数：50団体（認定こども園1園、私立保育園1園、幼稚園9園、小学校30校、中学校9校） 開催回数：214回（うち託児付き33回） 延参加者数：13,146人（託児人数延べ150人） 事業内容：手作り絵本～子どもの心を豊かにする、子育てコーチング、生活習慣に関するルールづくり講座 ほか	いきがい推進課

【取組み11】 高齢期における学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●健康づくり、趣味などに関する学習の場の提供	かすがい熟年大学	高齢者が充実した余暇時間を過ごすとともに学習を通じて健康で生きがいのある生活が送れるよう学習の場を提供する。	実施数：5コース各13回、合同講座2回 内容：生活、歴史、文学、健康科学、芸術文化の5コースを実施 延受講者数：6,426人	いきがい推進課

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●オンラインスキル向上のための学習機会の提供	シニア向けICT講座	デジタルディバイドの解消に向け、シニア向けにスマートフォン講座等を実施する。	(1)公民館 実施数：6講座（14回） 実施講座：シニアのための持ち込みパソコン教室、やってみよう！ネットで講座の申込み ほか 受講者数：145人 (2)ふれあいセンター 実施数：6講座（32回） 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、初めてのスマートフォン ほか 受講者数：230人 (3)青年の家 実施数：1 講座（1 回） 実施講座：スマートフォンの活用講座～Wi-Fiを使って公共施設の予約をしよう～ 延受講者数：9 人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み12】 リカレント教育の推進

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●資格取得を目指した講座の実施や情報の発信	資格取得を目指した講	自己実現や職業能力の向上等に必要な知識、技能、教養を身につける学び直しの機会を提供する。	実施数：1 講座（12回） 実施講座：簿記3級をめざして 延受講者数：228人	多様性社会推進課
	学び直しのための講座等の情報発信	自己実現や職業能力の向上等に必要な知識、技能、教養を身につける学び直しの機会についての情報を発信します。	大学の単位を取得できる放送大学の履修生募集情報について、チラシの設置や広報春日井での周知を行った。	いきがい推進課

基本的施策(2) 生涯スポーツの推進

【取組み13】 コミュニティスポーツの推進

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●スポーツ推進委員の育成	スポーツ推進委員	地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行うスポーツ推進委員の充実を図る。	(1)春日井市スポーツ推進委員実技研修会(4回) (2)その他(研修会等への参加) 愛知県スポーツ推進委員研修会 4市スポーツ推進委員合同研修会 (3)スポーツ推進委員の派遣 派遣件数:35件 派遣人数:117人	文化スポーツ振興課
●多様な世代が参加できる運動機会の提供	ラジオ体操会	子どもから高齢者まで、あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1日曜日を「ラジオ体操の日」とし、「みんなでラジオ体操会」を実施することで、ラジオ体操の普及を図る。	(1)みんなでラジオ体操会 期日:8月1日(火) 会場:落合公園 参加人数:1,020人 (2)ラジオ体操!チャレンジ宣言 期日:7月21日(金)~8月31日(木) 団体数:70団体 参加人数:5,737人	文化スポーツ振興課

【取組み14】 スポーツに関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●スポーツイベントの実施	スポーツイベント	マラソン大会、スポーツフェスティバルなどを実施し、多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図る。	(1)新春春日井マラソン大会 期日:1月7日(日) 参加人数:4,765人 (2)かすがい!スポーツフェスティバル 期日:10月9日(月・祝) 参加人数:6,085人 (3)レクリエーションスポーツ祭2023 期日:6月11日(日) 参加人数:456人 (4)市民体育大会 期日:4月1日(金)~3月31日(金) 参加人数:8,485人	文化スポーツ振興課

●春日井市スポーツふれあい財団との連携強化	春日井市スポーツ・ふれあい財団との連携	生涯スポーツ教室や出張スポーツ講座を始め、さまざまなスポーツ教室（講座）やスポーツイベントを行う、春日井市スポーツ・ふれあい財団と連携し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。	(1)スポーツ教室（講座）の開催 実施内容：生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延回数：3,901回 延参加人数：83,550人 (2)スポーツイベントの実施 実施内容：親子で楽しむ！スポーツ教室、Fリーグ春日井大会、萩原智子杯水泳競技大会in春日井兼サンフロッグ春日井水泳競技大会 ほか 延参加人数：19,411人	文化スポーツ振興課
-----------------------	---------------------	--	--	-----------

基本的施策(3) 文化芸術の振興

【取組み15】 文化芸術の鑑賞機会や学習機会の提供

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●地域の身近な場所での鑑賞・交流機会の提供	かすがいどこでもアート・ドア	身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣する。また、小・中学校の授業型アウトリーチ「スクール・アート・ドア」を実施し、子どもの頃から芸術に親しむ機会を提供する。	派遣アーティスト数：音楽・伝統芸能系15組、美術系3人 実施回数：44回 （うちスクール・アート・ドア15回） 延参加者数：5,173人 （うちスクール・アート・ドア1,632人）	文化スポーツ振興課
●様々な文化を体験できる機会の充実	かすがい文化フェスティバル	次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。	(1)夏休みワークショップ 実施数：13講座 延参加者数：367人 (2)夕涼みシネマ 延参加者数：165人	文化スポーツ振興課
●芸術家によるアウトリーチ活動	わ〜く書っぽ	書に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において書に親しんでいただくため、書家を地域の集会所や公民館に派遣する。	実施プログラム：5講座 実施回数：11回	文化スポーツ振興課

【取組み16】 市民による文化芸術活動の促進

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●文化芸術イベントの実施	文化芸術イベント	かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実を図る。	(1)美術系事業 新進作家支援事業 山田雅哉「エチカ」、のだめカンタービレ展、中日新聞報道写真展 (2)舞台系事業 市制80周年記念事業 第30回日本舞踊鑑賞会、帰ってきた びわ湖ホール四大テノール・コンサート、松竹歌舞伎舞踊公演、ミュージカル『カラフル』、手 島 葵 concert2023〜Trio〜、市制80周年記念事業 生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会ニューイヤークンサートほか	文化スポーツ振興課

【取組み17】 特色ある文化の推進

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	道風展	春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。	春日井展：10月29日（日）～11月5日（日） 表彰式：10月29日（日） VR展：10月29日（日）～12月3日（日） 特別巡回展：10月29日（日）～12月3日（日） 学生半紙の部巡回展： 11月27日（月）～12月17日（日） JR春日井駅自由通路展示コーナー 一般部巡回展：12月13日から、西部ふれあいセンター、グルッポふじとう、市庁舎 募集部門：一般部 第1部漢字、第2部かな、第3部近代詩文、第4部少字数、第5部小品、学生部 半紙、条幅 応募点数：一般部353点、学生部5,541点、計5,894点	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
	自分史関連事業	自分史活動により、個人を敬い、心のつながりを認識することを目指す。	自分史を社会課題解決に活用し、誰にでも起こりえる“孤独・孤立”の問題に対して、地域の公立文化施設が課題解決のプラットフォームとして持続的・安定的に機能するための支援モデル構築を目的として実施した。 (1)「あなただけの”とっておき”のアルバムをつくろう」 講師：浅田政志（写真家）2日間実施 計26人参加 (2)「モヤモヤの正体 わたしと身体の手がかりを知る」 講師：伊 雄大（もの書き、インタビュアー） 「モヤモヤを聞く」大人向け、19人参加 「モヤモヤを話す」10-20代向け、5人参加	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）

【取組み18】 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●文化財や伝統芸能等の保存・継承・活用	郷土芸能等のデジタルアーカイブ化	市の文化財について認知度を高めるため、VR（バーチャル・リアリティ）による見学ツアーやPR動画や360°動画の作成等、デジタルデータを活用した文化財情報を積極的に発信する。	伊多波刀神社（市指定無形民俗文化財「伊多波刀神社奉納流鏑馬」が奉納される神社）のVR（バーチャル・リアリティ）見学ツアーを市ホームページで公開した。	文化財課
●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	内津文化財祭、ハニワまつり、古代史講座	春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座を実施し、市の歴史や文化財の周知啓発を図る。	(1)内津文化財祭 開催日：5月14日（日） 会 場：内々神社 参加者：200人 (2)ハニワまつり 開催日：10月28日（土） 会 場：二子山公園 参加者：4,500人 (3)講座 親子体験教室 7回 延受講者数：154人 特別講座 3回 延受講者数：262人 古代史講座 3回 延受講者数：120人	文化財課

基本的施策(4) 自主的・主体的な学習活動への支援

【取組み19】 図書館、図書室の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●図書資料、視聴覚資料の充実	図書資料、視聴覚資料	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整える。	蔵書数 春日井市図書館 590,838冊 高蔵寺まなびと交流センター図書館 82,896冊 味美ふれあいセンター始め9図書室 102,456冊 合計 776,190冊 (9,781冊減)	図書館

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●中高生を対象としたティーンズサービスの充実	ティーンズサービス	中学生・高校生（10代）の利用促進を図るため、T C（ティーンズコーナー）通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	(1) T C（ティーンズコーナー）通信発行 年6回 (2) T C蔵書の拡充 令和4年度末6,042冊 → 令和5年度末6,283冊 (3) 10代の未来さがし講座 読書からの贈り物～選書と本との対話～ 日 時：11月11日（土） 場 所：文化フォーラム春日井 受講者数：児童・生徒7名、保護者4名	図書館

【取組み20】 生涯学習活動団体への支援

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	施設利用に係る生涯学習活動団体への支援	生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう支援する。	・3か月前優先予約 令和5年4月利用分から生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前から予約できるよう変更した。 ・施設使用料の2分の1を減免する。	いきがい推進課
	文化スポーツイベント補助金	文化の振興、スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	スポーツ 国際大会出場補助：個人 16件、団体 0件 全国大会出場補助：個人 161件、団体 14件 全国大会開催補助 1件（第33回全国高等学校剣道選抜大会） 文化 文化的事業の開催 2件 国内での文化事業参加 団体：0件、個人：9件 国際文化交流事業 0件	文化スポーツ振興課

▶ 基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)

基本的施策	報告 事業数	自己評価				
		◎	○	△	×	評価なし
(1) 社会的課題に対応した学習機会の充実	30	8	22			
(2) 地域の担い手となる人材の発掘及び育成	12		11	1		
(3) 学習成果を生かしたまちづくりの推進	11	2	9			

※自己評価基準 ◎ : 想定以上の成果が得られたところがあった。前年度実績を上回る成果があった。
 ○ : 全般的に、概ね想定した成果が得られた。前年度実績と同程度の成果があった。
 △ : 想定した目標に到達できなかったところがあった。前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
 × : 全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年と比較し大幅に下回る成果しか得られなかった。

(2) 成果指標と2023年度(令和5年度)実績値 *は後期計画から新たに指標とした項目

基本的 施策	指 標	実績値			前年度 比較	目標値
		2021 年度 (R3 年度)	2022 年度 (R4 年度)	2023 年度 (R5 年度)		2026 年度 (R8 年度)
(1)	公民館及びふれあいセンター等で開催する講座の延受講者数	15,335 人	18,977 人	20,801 人	↑	25,000 人
(2)	生涯学習情報サイトに登録されている講師数	298 人	301 人	323 人	↑	340 人
(3)	公民館まつりの参加団体数	74 団体	108 団体	102 団体	↓	150 団体
	学習活動を通じて身に付けた知識や技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	3.0%	—	—	-	7.0%

(3) 主な取組み状況

※取組みの一覧は、資料54～63ページに掲載

基本的施策(1) 社会的課題に対応した学習機会の充実

【取組み 21】 健康に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●各ライフステージの健康課題に対応した講座の実施	お気軽健康教室	高齢期の自立度の低下を防ぎ、健康寿命の延伸を図るため、ロコモティブシンドロームや認知症の予防に効果的な軽運動を行う教室を開催する。	(1)総合保健医療センター 実施回数：47回 参加者数：2,210人 (2)保健センター 実施回数：45回 参加者数：1,100人	健康増進課
●健康づくりや介護予防を実践する機会の提供	市民健康づくり講座	生活習慣を改善するきっかけづくりとなるよう、健康づくりと予防方法に関する正しい知識を身につけることができる講座を実施する。	実施数：5講座（すべてオンライン） 講座内容：男性、女性それぞれの特長から考える更年期の過ごし方、働く世代の睡眠改善～安全に楽しく活動するための睡眠改善法伝授～、筋肉は最高のオシャレ！筋力トレーニングの基礎知識について ほか 延受講者数：522人	健康増進課

【取組み 22】 環境に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●座学やフィールドワーク、ワークショップ等を通じた環境を学ぶ機会の提供	市民環境アカデミー	地球温暖化、省エネルギー、身近な自然環境やその保全活動等をテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通じて学ぶ機会を提供する。	実施内容： 第1回「エネルギーと環境問題」 第2回「地質学と地球温暖化」 第3回「モータースポーツにおけるカーボンニュートラル」 第4回「マシンガンズ滝沢さんと考えるごみ問題～清掃員から見た景色～」 第5回「生物多様性は大事な？～植物を求める旅から見たこと～」 第6回「海洋汚染の防止と国際社会」 受講者数：48人	環境政策課
	カーボンフリー環境講座	地球温暖化対策に対し、自ら考え、実践することができる次世代の人材育成を図るため、地球温暖化対策等を学ぶ体験型講座を実施する。	小学生とその保護者を対象に、空港資源を活用して航空会社が行い、地球温暖化対策を学ぶ体験型講座を実施。 日時：12月2日（土） 場所：県営名古屋空港ターミナルビル3階会議室・F D A 格納庫 参加者：38人	環境政策課

【取組み 23】 防災、防犯に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●防災、防犯に関する講座の実施	安全アカデミー	地域の安全について自ら考えて行動し、提言できる地域のリーダーを育成する春日井安全アカデミーを開催する。	生活安全コース：8講座 防災コース：7講座 実施期間：7月1日（土）～12月2日（土） 参加者数：75人（65人卒業）	市民安全課
	安全安心フェア	市民への自助力及び共助力の向上を推進するとともに、防災、防犯及び交通安全意識の高揚を図ることを目的に、安全安心フェアを実施する。	防災・防犯・交通安全の啓発事業を実施することにより、市民への自助力及び共助力の向上を推進する。災害時応援協定を締結している企業による防災啓発関連の展示を行った。 日時：6月3日(土)午前10時～午後4時 会場：文化フォーラム春日井、市民ひろば 参加人数：約2,500人	市民安全課

【取組み 24】 情報化・国際化社会に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●パソコンやスマートフォンなどの操作を学ぶ講座の実施	ICTの活用に関する講座	パソコンやスマートフォンなどの操作方法や活用方法をはじめとしたICTに関する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：12講座（36回） 実施講座：親子でゲームをつくるプログラミング講座!!、シニアのためのAndroidスマートフォン教室 ほか 受講者数：433人 (2)ふれあいセンター 実施数：7講座（25回） 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、持ち込みパソコン講座 ほか 受講者数：253人 (3)青年の家 実施数：1講座（1回） 実施講座：スマートフォンの活用講座～Wi-Fiを使って公共施設の予約をしよう～ 延受講者数：9人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●多文化共生に向けた学習機会の充実	わくわく！ふれあいワールド	異文化への理解を深めるとともに、外国人市民と日本人市民との交流を図るため、市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネットワークに委託し、「わくわく！ふれあいワールド」を実施する。	実施回数：7回 実施内容：外国の飲み物文化とジュースを味わう、親子でイタリア料理、多文化共生講演会 自転車で世界を一周した冒険家が語る「夢のかなえ方」など 延参加者数：4,323人	多様性社会推進課

【取組み 25】 男女共同参画に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●男女共同参画セミナー、出前講座の実施	男女共同参画市民フォーラム	男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を目的に、市民、社会活動団体、企業、市がともに考える機会として、市民フォーラムを開催する。	開催日：11月26日（日） 参加人数：500人 内 容：講演会、パネルディスカッション、男女共同参画フォトコンテスト作品展示	多様性社会推進課
●女性のキャリアアップや男性の家事、育児、介護能力向上のための講座の開催	女性のキャリアアップや男性の家事能力向上に関する講座	女性のキャリア形成や管理職に就くまでのイメージの構築、本市で起業を希望する女性起業家の経営安定と質の向上を図るためのセミナー等を開催する。また、男性が主体的に育児に参加できるよう、セミナーを開催する。	【女性向け】 実施数：4講座 実施内容：女性のためのキャリアアップ講座、女性のための起業応援セミナー、起業応援セミナー フォローアップ会、テレワーク入門セミナー 延受講者数：239人 【男性の育児力向上】 実施数：1講座 実施内容：えがお先生のパパ写真セミナー 受講者数：8人	多様性社会推進課

基本的施策(2) 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

【取組み 26】 指導者となりうる人材の育成

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●人材を育成するための講座の実施	安全・安心まちづくりボニター養成講座	地域の安全についてリーダー的役割を担うボニターを養成するため、安全アカデミーを卒業した人を対象に養成講座を実施する。	開催期間：1月25日（木）・26日（金） 実施内容：普通救命講習、防犯講話、避難所運営ゲーム（HUG）	市民安全課

	野外活動・自然体験指導者講座	野外での体験活動、自然に親しむ活動、遊びなど様々な分野で十分な指導ができるよう講習会を開催する。	野外活動・自然体験指導者講座（４回） 延受講者数55人	野外教育センター
--	----------------	--	--------------------------------	----------

【取組み 27】 ボランティアの育成

主な内容	事業名	事業概要	令和５年度実績	担当課
●ボランティアを養成するための講座や教室等の開催	人材育成セミナー	ボランティアや市民活動で活躍する人材を育成するため、人材育成セミナーを実施する。	(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成した。 ・青少年ボランティアスクール受講者 延142人 ・オトナのボランティアスクール受講者 延26人 (2)市民交流会議企画の市民活動団体のニーズに合った講座を開催した。 ・市民交流会議企画セミナー 開催数 ３回（11月、1月、3月） 受講者 第1回 14人（10団体） 受講者 第2回 14人（8団体） 受講者 第3回 23人（17団体） ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者39人	市民活動支援センター
	図書館読み聞かせボランティア養成講座	図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、読み聞かせボランティアに必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を実施する。	実施回数：１回（３日間） 延受講者数７人	図書館

基本的施策(3) 学習成果を生かしたまちづくりの推進

【取組み28】 学びの成果を発表する機会の提供

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
● 公民館まつりを活用した発表機会の確保	公民館まつり	公民館で活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催する。	(1)中央公民館 発表会参加団体数：8団体 作品展参加団体数：12団体 (2)知多公民館 発表会参加団体数：6団体 作品展参加団体数：9団体 (3)鷹来公民館 発表会参加団体数：7団体 作品展参加団体数：11団体 (4)坂下公民館 発表会参加団体数：9団体 作品展参加団体数：15団体 (5)東部公民館 発表会参加団体数：14団体 作品展参加団体数：11団体	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
● 生涯学習情報サイト登録講師の市民講座等への登用	登録講師の市民講座等への登用	公民館等で実施する講座に生涯学習情報サイトに登録されている講師などを積極的に登用する。	講師新規採用数：8人 情報サイト登録者：14人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み29】 市民自らが企画した講座の開催

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
● 市民が講師として活躍する場の提供	講師発掘・登用事業	さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座の講師として活躍する場を提供する。また、登用した講師を市主催講座で積極的に活用する。	応募件数：22件 採用件数：16件 実施数：12講座（うちオンライン講座1講座） 実施講座：だれでもできる自然治癒力を活性化する健康法、今日からあなたも会話美人ほか 延受講者数：186人	いきがい推進課
● 生涯学習活動団体が講師を務める講座の実施	市民のためのチャレンジ講座等	施設を利用している生涯学習活動団体による講座を実施する。	(1)公民館 実施数：4講座（13回） 実施講座：ヨガで心と体をリフレッシュ、絵手紙で年賀状を描いてみよう！、初級マジック講座、子ども茶道教室 延受講者数：77人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み30】 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
● 地域の課題解決に向けた取組に対する費用の助成	生涯学習まちづくり出前講座	市民等により構成される団体の依頼に応じ、市職員を地域の集会施設等に派遣し、行政情報や施策に関する講座を実施する。	実施数：11講座 申請団体：地区社会福祉協議会 ほか 実施講座：高齢者、障がい者などの災害時の避難支援制度について、介護保険のしくみについて、マイナンバーカードについて ほか 延受講者数：310人	いきがい推進課

▶ 基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)

基本的施策	報告 事業数	自己評価				
		◎	○	△	×	評価なし
(1) 身近な生涯学習施設の充実	11	1	8	2	—	—
(2) 関係機関とのネットワークの構築	5	1	3	1	—	—

※自己評価基準 ◎ : 想定以上の成果が得られたところがあった。前年度実績を上回る成果があった。
 ○ : 全般的に、概ね想定した成果が得られた。前年度実績と同程度の成果があった。
 △ : 想定した目標に到達できなかったところがあった。前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
 × : 全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年と比較し大幅に下回る成果しか得られなかった。

(2) 成果指標と2023年度(令和5年度)実績値 *は後期計画から新たに指標とした項目

基本的 施策	指 標	実績値			前年度 比較	目標値 2026年度 (R8年度)
		2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)		
(1)	公民館及びふれあいセンター等の利用者数	335,309 人	432,639 人	492,487 人	↑	500,000 人
(2)	大学連携講座の実施数	9 講座	18 講座	18 講座	→	20 講座
	地域の民間事業者、NPO 等と連携した講座の実施数*	50 講座	45 講座	64 講座	↑	60 講座

(3) 主な取組み状況

※取組みの一覧は、資料64～66ページに掲載

基本的施策(1) 身近な生涯学習関連施設の充実

【取組み 31】 市民が利用しやすい、利用したくなる施設運営

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●利用者ニーズに基づいた改善や管理運営方法の改善	Wi-Fi環境整備	施設利用者の利便性を高めるため、施設の機能向上を図る。	利用者の利便性を図るため、公民館、ふれあいセンターの各1室にWi-Fi環境を整備した。(令和3年度実施) 令和5年度は、新たに青年の家にWi-Fi環境を整備した。 設置施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、レディヤンかすがい、青年の家	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み 32】 施設の有効活用

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●学校体育施設の開放	学校体育施設の開放	市民の健康増進や体力の向上を図るため、スポーツ活動の場として市内の小中学校体育館、中学校武道場及び県立学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放する。	(1)県立学校体育施設開放 開 放 校：県立春日井高等学校 始め8校の校庭 利用者数：1,607人 (2)小中学校体育施設開放 開 放 校：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：292,956人	文化スポーツ振興課
●予約が入っていない集会室等の活用	スタディールーム	公民館、ふれあいセンター等の空き室を有効活用し、学習室として開放することで中高生の自主学習を支援する。	実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、レディヤンかすがい 利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日（午前9時から午後5時まで） 利用できる人：市内在住、在学の中学生、高校生 利用人数：7,936人	いきがい推進課

【取組み 33】 施設の適切な維持管理

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●公共施設等施設 マネジメントによる計 画的な改修・修繕	計画的な修繕	施設の定期的な点検を行い、劣化 状況等を把握するとともに、施設保 全計画に基づき、計画的な修繕を 実施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修 繕を行う。 (1)鷹来公民館大規模改修工事実施設計 (2)東部市民センター電話設備改修工事 (3)南部ふれあいセンター給水ユニット取替工事 (4)公民館等多目的トイレベビーチェア設置工事 (5)道風記念館展示ケースLED照明器具更新工事 (6)少年自然の家宿泊棟空調設備更新工事 ほか	公民館、ふれ あいセンター、 東部市民セン ター、青年の 家、道風記念 館、多様性社 会推進課、野 外教育センタ ー（社会教 育施設）
	計画的な修繕	施設の定期的な点検を行い、劣化 状況等を把握するとともに、施設保 全計画に基づき、計画的な修繕を 実施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修 繕を行う。 (1)総合体育館：更衣室シャワー修繕 (2)温水プール：ファンコイルユニット更新修繕 (3)市民球場：観覧席ベンチシート取替修繕 (4)落合公園体育館：給水管漏水修繕 ほか	文化スポーツ 振興課 （社会体育 施設）

基本的施策(2) 関係機関とのネットワークの構築

【取組み 34】 地域の大学や事業者との連携

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●大学や民間事業 者等との連携による 講座の開催	大学連携講座の開催	市民の多様化する学習ニーズに応 えるため、大学が持つ優れた人材と 設備を活用し、高度な内容の講座 を実施する。	連携大学：中部大学、名城大学、椋山女学園大学、 名古屋学芸大学、東洋大学 実 施 数：18講座 実施講座：クラシック音楽史、生活に生かすカラーコーデ ィネート、子どものこころとからだを育む～家庭教 育オンライン講座、親子の理科 教室～にぼしを解剖して環境問題について考 えよう ほか 実施方法：対面講座 13講座 対面・オンライン併用講座 3 講座 オンライン配信講座 2 講座	いきがい推進 課

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●大学や民間事業者等との連携による講座の開催	民間団体・事業者との連携	民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。	(1)公民館 実施数：29講座（94回） 実施講座：はじめてのバドミントン、季節を感じる家庭料理、はじめての資産形成～シン・ニーサを活用しよう、シニアのための持ち込みパソコン教室 連 携 先：春日井市食生活改善協議会、春日井市バドミントン連盟、日本証券業協会、けやきネットの会 ほか 延受講者数：1,789人 (2)ふれあいセンター 実施数：35講座（121回） 実施講座：らくちん筋力アップ体操、夏休みこども劇場、ホテルプラザ勝川シェフの料理教室 ほか 連 携 先：あい・愛マインド、グループゆう、ホテルプラザ勝川 ほか 延受講者数：1,120人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター 公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み 35】 近隣自治体との連携

主な内容	事業名	事業概要	令和5年度実績	担当課
●近隣自治体の情報や人材の相互利用による生涯学習の推進	愛日社会教育担当者連絡会	近隣市町との連携や情報共有を図るため、小牧市や瀬戸市を始め11市町で構成された愛日社会教育担当者連絡会に参加する。	愛日社会教育担当者連絡会に参加し、情報交換を行った。 5月8日（月）：名古屋市三の丸庁舎 8月24日（木）：研修会（春日井市） 1月30日（火）：研修会（豊山町）	いきがい推進課

3. 生涯学習推進計画進捗状況に係る評価 (案)

第2次生涯学習推進計画の後期1年目となる。新たに設定した目標に向け様々な事業が展開されており、全体として概ね計画どおりに事業を実施することができている。

個別の施策や取組みを見ると、基本目標Ⅰ「学びにつながるきっかけづくり」では、広報春日井、市公式LINE配信など市が直接的に情報発信する媒体以外に、駅のデジタルサイネージなど民間との連携により多くの人が情報に触れる機会を創出している。今後も、欲しい情報がわかりやすく入手できるような情報発信が望まれる。また、施策(3)誰もが参加しやすい学習機会として実施しているオンライン講座は、多くの受講者があり、学びたい人にとって有効な手法となっている。今後も多様な生活様式に合わせた講座の実施に期待する。加えて、デジタル格差による学習機会の消失とならないよう、高齢者などを対象としたデジタル機器の利用を促進する事業のさらなる拡充に期待している。

基本目標Ⅱ「多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実」では、各種講座や教室、イベントが充実して行われている。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、様々な制限が解除され、人々の動きも活発となり、各講座やスポーツ教室、イベント等への参加者数も大きく増加している。生涯学習活動が地域の活力となり、すべての世代の市民がよりいきいきと活躍できるような取組みに期待する。

基本目標Ⅲ「学んだ成果を生かしたまちづくり」では、社会的課題に取り組む各種事業や、地域で活躍する指導者やボランティアの育成が進められている。また、基本目標Ⅳ「学びを豊かにする環境づくり」においては、近隣大学や民間事業者、NPO法人など、団体の持つノウハウを生かした講座も実施されている。多様な学習活動の推進に向け、さらなるネットワークの構築、各関連機関との連携、協働が求められる。

今後も引き続き、改定された後期計画に基づき、市民一人一人がいきいきと豊かな生活を過ごせるよう生涯学習の推進に取り組んでいただきたい。

資料編 令和5年度 生涯学習推進計画進捗状況(一覧)